

第8号

地域・家庭・学校をつなげる新聞!

熊谷ひみつ新聞

Kumagaya Secret Newspaper

社団法人 熊谷青年会議所 15,000部発行
 熊谷市宮町2-39 熊谷市立商工会館内
 電話 048-524-0440
 FAX 048-524-0519
 http://www.kumagaya-jc.or.jp/



後援 熊谷市 熊谷市教育委員会 熊谷商工会議所
 印刷 株式会社ピーアイビー 熊谷市筑波1-157-2 電話 048-524-1463

もくじ

縁の下の力持ち!	1ページ
自然と共に暮らすみんなの熊谷	2ページ
めざせ! 熊谷の偉人	3ページ
来年の夏もクールシェアスポットへ行こう	4ページ

テーマ だいすき!!! 熊谷

熊谷を支える

縁の下の力持ち!

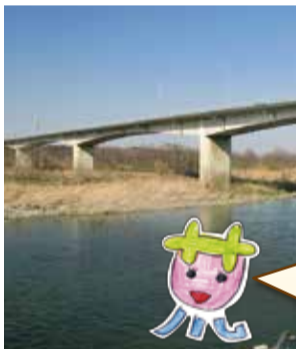
荒川に掛かる四本の勇者達!

みなさんこんにちは! みなさんが暮らす熊谷の中心部付近には荒川という大きな川が流れています。前号の新聞でもお伝えしたとおり、荒川は熊谷の発展のためにもとても重要な役割を果たしてきました。今回はこの荒川で人と地域を結び、熊谷の発展を縁の下で支える市内4本の『橋』のひみつにせまります。みなさんも一緒に『橋』のひみつを探って、熊谷のことを大好きになってしまおう!

荒川の新マスコット



『荒ちゃん』が橋のひみつを案内します。



熊谷大橋のひみつ
 全長 1163m
 『次は熊谷大橋! 出来た当時(1971年)はコンクリート製の橋では日本一の長さを誇っていました。今は後輩の橋に長さを譲ってしまいました。』



押切橋のひみつ
 全長 1339m
 『今の橋は4代目なので、前の橋は木で出来ていてよく流されました。今の橋になってからはそんなこともなくなりました。』



久下橋のひみつ
 全長 778m
 『最後に久下橋です。今の橋が完成したのは2003年です。他の橋よりまだまだ歴史は浅いけどこれからも宜しくお願ひします。』



荒川大橋のひみつ
 全長 846m
 『続いて荒川大橋です。今の橋は1980年に完成しました。それまで架かっていた橋の一部は村岡側の「トラス広場」に残されています。』

君は「思いやり橋」を知っているか!?

先代の久下橋は、今の様な立派な橋ではなく、増水時水没してしまう冠水橋でした。橋の幅は狭く、車が一台通るのがやっとでした。行き違いはできなかつたので、対岸で互いの様子を見ながら通行を譲り合っていました。その光景から、別名「思いやり橋」と呼ばれ、市民のみなさんに深く愛されました。



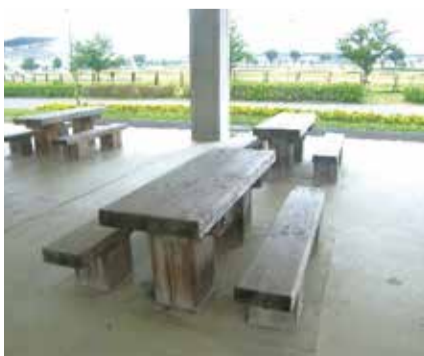
「旧久下橋の自慢は洪水の度に蘇る粘り強さでした。」

生まれ変わった「思いやり橋」

2003年6月15日、「思いやり橋」は惜しまれながら撤去されました。しかし、そこで使用されていた木材の一部は、テーブルやベンチなどに生まれ変わり、新たな場所で活躍しています。

是非、みなさんもお友達や家族の方々と一緒に「思いやり橋」の名残を探してみてください。テーブルやベンチの手触りから、「思いやり橋」を愛した人々のやさしさや温もりが、きつと伝わってくるはずですよ。

問題「ここはどこでしょう?」



ヒント1 熊谷スポーツ文化公園、くまがやドームの近く



ヒント2 このプレートが目印です!!

今回はみなさんに関わりの深いものの中から、4本の『橋』を紹介しましたが、まだまだ熊谷にはすごいひみつがたくさんあります。いろいろなひみつを探して、今よりもっと熊谷のことを好きになってください。

今回の紙面に登場したマスコットの『荒ちゃん』と一緒に新聞を作成したお友達が考えたキャラクターです、もしかしら世界デビューするかも!?

記者 中島 寛



自然と共に暮らすみんなの熊谷

—— 気球に乗ってみました ——

熊谷ってみどりがいっぱいってホント？

幻の村「新川村」は、むかし秩父の山から江戸（現在の東京都）に木材などを運ぶ中間の船着き場として栄えましたが、今ではだれも住んでいません（でも最後の住民は熊谷市久下に住んでいるらしいよ！）。そして今回、この新川村で気球に乗って上空20メートルの高さから熊谷のまちを見渡しました。気球から見えた景色は、遠くに見える山や熊谷を流れる荒川、そして何よりも自分たちの周りがみどりで囲まれていることに改めて気づきました。その他にも熊

谷にはみどり豊かな場所はたくさんありますよね。ビルが立ち並ぶ街中を思い出しただけでも、クールシェアキックオフイベントを開催した星溪園、八木橋の裏にある熊谷寺、市役所の隣にある中央公園などのみどりあふれる景色が頭に浮かんできます。熊谷を見渡すと自然と共に暮らしている様子がよくわかりますね。こんな熊谷の景色を残すために、まずはみなさんも身近な自然を大事にすることから始めてみましょう！



新川村上空から見た熊谷（西の方角）



第3回熊谷子どもみらい塾のようす

熊谷こどもみらい塾

5月のオリエンテーションから始まり、市内の小学生4～6年生を対象に全4回行われた「熊谷こどもみらい塾」。熊谷をもっと好きになつてもらうために、熊谷青年会議所のおじさんたちと一緒にいろいろな体験をすることで勉強しました。クールシェアキックオフイベントに参加してたらいに乗って



気球のひみつ

気球はどうして飛ぶの

熱気球は、気球の中の空気をガスバーナーで暖めることで上昇します。中の空気を暖めると

- (1) 中の空気が膨張する。
- (2) 膨張した分の空気は入口から外へあふれ出る。
- (3) あふれ出た空気のみだけ軽くなる。

だれが最初に飛んだの

熱による、空気の膨張を利用して大空を飛ぶことを考えたのは誰だったのでしょうか。

それはフランスのモンゴルフィエ兄弟で、1783年に初めて熱気球で空を飛ぶことに成功しました。そのころ日本は江戸時代後期（第10代将軍、徳川家治の治世）ですね。ちなみに日本人で初めて飛んだ熱気球は1969年だそうです。

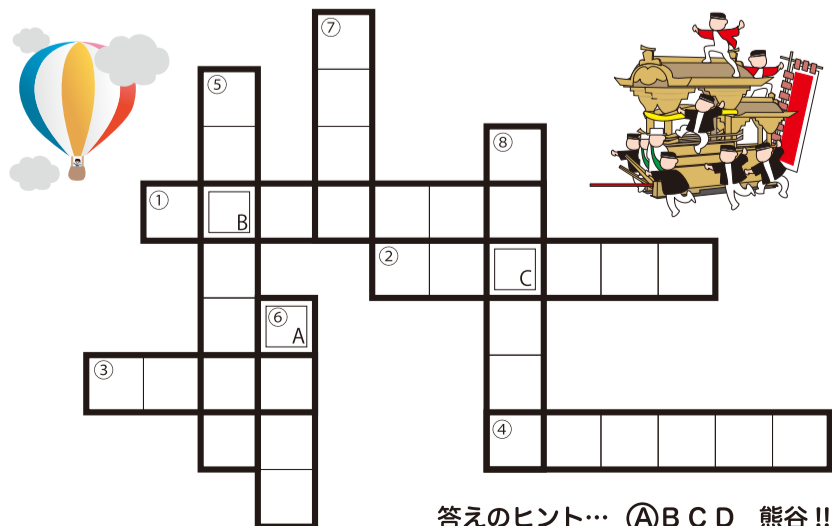
上空20mの熱気球からは

今回は地上と気球をロープで結んで飛行する「係留フライト」ということで、地上約20mの高さまであがりました。そのときにどのくらい遠くまで見ることができのでしょうか。気球から地平線が見えるとして、気球から地平線までの距離を計算してみました。そうすると約16km先まで見えます（新川村からだと桶川市あたりです）。しかし、実際は建物などの障害物や天気が悪いと見えないですよ。

仮になにもなかったらどこまで見えるのでしょうか。ちなみに求め方は、

$$\sqrt{\{(地球の半径+気球のあがった高さ)^2 - (地球の半径)^2\}} = \text{気球から地平線までの距離 (m)}$$

ちょっと難しいですね（汗）。わからなかったらお父さん、お母さんや学校の先生に聞いてみよう！



答えのヒント… ①A B C D 熊谷!!!

- ① 『ムサシトミヨをまもる会』の保護活動が2013年に『○○○○・プロジェクト未来遺産運動』に登録された。○○○○とは？
- ② 熊谷の水から作った氷を雪のようにふわふわに削り、お店ごとにオリジナルのシロップを使用したかき氷は？
- ③ 「絹の里 熊谷」の礎を築いた熊谷の偉人は？
- ④ 毎年7月20日から行われる関東一といわれる祇園祭は？
- ⑤ 昔は星川の源で清らかな水がわき出るので「玉の池」と呼ばれ、郷土の偉人である竹井澹如によって作られた回遊式庭園は？
- ⑥ 旧久下橋の別名（愛称）は？ ○○○○橋
- ⑦ 熊谷から群馬県千代田町赤岩まで利根川を渡る船着き場（渡船場）があります。熊谷側の地名は？ ○○○○の渡し
- ⑧ 1782年にフランスのモンゴルフィエ兄弟が飛行に成功した乗り物は？

クローズアップ
熊谷

クローズアップ
熊谷

めざせ！熊谷の偉人

「絹の里 熊谷」の偉人 鯨井勘衛

皆さんは絹の糸を見たことがありますか？絹の糸は別名「生糸」ともいい、蚕と呼ばれる蛾の幼虫が作る繭から生糸を作り出す産業を養蚕と言います。この養蚕の技術を支え、発展させた偉人が熊谷市にいました。鯨井勘衛という人物です。

鯨井勘衛は1831年、現在の熊谷市玉井に生まれました。少年時代の勘衛は、人に言われなくても自分から進んで勉強をし、仕事を手伝う男の子だったそうです。

勘衛は、24歳の若さで蚕を育てる仕事を始め、蚕の研究に熱中しました。32歳になると蚕種（蚕の卵）を作り始め、35歳の時には荒川の河原に埼玉県で初めて桑という植物の畑を開きました。特に桑の生産が多かったのが、熊谷市にあった新川村でした。荒川で洪水が起こるたびに上流から運ばれてくる新しい土や砂が、桑の葉に害虫を寄せ付けないので、新川村の質の良い桑の葉を食べて育った蚕の繭は、とても高い値段で取引されたそうです。



鯨井勘衛(1831-1875)

写真提供：熊谷市江南文化センター



元素楼跡地にある行啓記念碑(熊谷市玉井1468)

熊谷と世界遺産の意外な関係

今年、群馬県富岡市にある「富岡製糸場」が世界文化遺産に登録されましたが、この姉妹工場が実は熊谷市にありました。

熊谷市本石にある「片倉シルク記念館」は、かつて片倉工業の「熊谷工場」という蚕の繭から生糸を作る工場で、1907年から87年間操業していました。戦争中には、ここで製造した生糸を材料にして、軍隊で使うパラシュートが作られていました。

現在は、開業当時から使われていた繭倉庫と福島から運ばれてきた繭倉庫の2つを改装し、記念館として一般公開しています。絹の里として栄えた熊谷の長年の歴史をいつまでも保存し、伝えていくために、創業当時から使われていた製糸機械を展示しているほか、写真や映像を用いて繭から生糸を作るまでの過程を分かりやすく紹介しています。2007年には、国の「近代化産業遺産」にも認定されています。

(記者 小暮 諒)

未来の熊谷 未来の自分

今回、新聞作りと熊谷こともみらい塾に参加してくれた子供たちに、未来の熊谷をどうしたいか、未来の自分がどうなりたいか、夢を聞いてみました。

未来の熊谷をこんな熊谷にしたい

- ・自然が多くて便利な街にしたい。
- ・もつと自然にあふれた熊谷にしたい。

未来の自分はこうなりたい

- ・熊谷をもつと都会にしたい。
- ・熊谷にリアモーターカーを走らせたい。

未来の自分はこうなりたい

- ・NBA(アメリカのプロバスケットボール)の選手になりたい。
- ・ピザ屋さんになりたい。
- ・塾の先生になりたい。
- ・鉄道関係の仕事につきたい。
- ・もしかしたらみんなも将来「くまがやの偉人」と呼ばれる日が来るかもしれないね。みんなも未来の熊谷・未来の自分について夢を書いてみましょう。

新聞作りを振り返って

今回の新聞作りには、熊谷こともみらい塾に参加してくれた子供たちに記者として協力をしてもらいました。記者の子供たちには、鯨井勘衛について学んでもらったり、片倉シルク記念館で生糸の作り方を見学してもらいました。子供たちに今回の紙面づくりの感想を聞いてみました。

・蚕の繭を作るのは大変だったという事が分かりました。

・蚕の繭から糸を取り出すために繭をゆでると、中のカイコが死んでしまうという事を知った。蚕は成長すると蛾になるという事を知った。

・鯨井勘衛がどれだけ世界や日本、熊谷の産業に関係しているかが分かりました。片倉シルク記念館を作った片倉工業が、世界遺産の富岡製糸場に関係があったことに驚きました。楽しかったです。

鯨井勘衛や熊谷の養蚕について、もつと詳しく知りたいお友達、家族の人に聞いてみたり片倉シルク記念館に足を運んでみよう。



片倉シルク記念館
(熊谷市本石2-135 熊谷サティ敷地内)
開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)
休館日：毎週月曜日および火曜日定休 その他臨時休館有
入館料：無料 写真提供：片倉工業株式会社



「こうちゃんのつばき」

みなさんこんにちは！熊谷市立東小学校出身の上林浩太郎です。夏休みは楽しかったですか？思い出はありましたか？おじさんは本当に良い夏の思い出ができました！それは熊谷こともみらい塾の友達と一緒に気球に乗ったことです。気球に乗って上空から熊谷のまちを見渡すことができました。そこからは山や川や森などのたくさん自然が見えたり、市街地の駅やビルや道路が見えたり、ありのままの大好きな熊谷の姿があったのです。

でも20年後、30年後の熊谷ってどうなってるだろう？きつともつと良いまちになっていると思います。そのためにはみんなの力が必要です。お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、そのもつと先のご先祖様たちががんばって今の熊谷ができました。機械もない時代から一人の力はけつて大きくなくてもみんなが協力し合い土を耕し、川から水をひき、農地をつくり、お家を建て熊谷をつくってきました。いつかそのパトンを受ける時がみんなにもきます。20年後、30年後はみんながこの熊谷を良くしていく主役になっているだろうなあ。その時のために、このひみつ新聞を読んでもつと熊谷のことに興味をもってもらい、好きになってくれたらうれしいです。

これから一生懸命勉強して、一生懸命遊んで、しっかりお父さんお母さんの手伝いをして素敵なひとになってください。身のまわりのことに気づく心(感心)、感じたら行動すること(感動)、みんなに「ありがとう」の気持ち(感謝)の3つの心をもつた「三感王」になってね。おじさんたちはこれからも、この熊谷にみんなの笑顔がいつばいになるように心意気をもって毎日を通していきます。最後まで読んでくれてありがとうございます。これからもよろしくおねがいします！

社団法人熊谷青年会議所

理事長 上林 浩太郎

来年の夏もクールシェアスポットへ行こう！

みなさん、今年の夏もクールシェアで楽しく涼しく過ごせましたか？前号では、熊谷で体験できる様々なクールシェアについて紹介しました。「雪くま」や「くま辛」を食べたり、星川で開催されたクールシェアくまがやキックオフイベントに参加してくれた人も多いのではないでしょうか。

キックオフイベントに参加してくれたみなさんは、星溪園で熱中症の予防について学んだり、星川でたらいに乗ったりして、おなじみの場所でもちょっと新しく涼しい体験ができましたね。でも、実は私たちがのおじいさんやおばあさんが子どもの頃は、星川でたらいを浮かべたり、魚を捕ったりすることは普通のことだったのですよ。みなさんにとっては初めてのことだったかもしれません。熊谷に昔から住んでいる人たちにとっては懐かしい出来事だったのです。

来年の夏も、暑さ対策日本一を目指す熊谷ならではの楽しい事を、みなさんが体験できるように、今回は熊谷市内各地にあるクールシェアスポットの中からみなさんのお友達を選んで、とっておきの場所を紹介しよう。実際に訪れた際の感想も紹介しますので、みなさんも是非行ってみたいですね。



なんと星川にミニ新幹線が登場！



たらいの船で星川をクルーズ



星川の中でますのつかみ取り！

6月1日星川で行われたクールシェアくまがやキックオフイベントの様子

とっても便利な「クールシェアひみつ道具」

突然ですが、みなさんにクールシェアひみつ道具を紹介しよう。クールシェアひみつ道具とは、クールシェアをより楽しく涼しくするための様々な道具のことです。代表的な道具として、クールシェアMAP、クールシェアマイスター、うちわ、ひしゃく、クールスカーフ等の暑さ対策グッズがあります。新聞を読んでいるみなさんはいくつ持っていますか？



クールシェアスポットを探そう！

クールシェアひみつ道具の一つ、「クールシェアMAP」を使って、取材に向かうクールシェアスポットを決めました。クールシェアMAPは、毎年クールシェアくまがやが始まる時期に熊谷市内全てのお家に配られています。このクールシェアMAPで探した、みんなが行ってみたいクールシェアスポットは・・・

クールシェアスポットに行ってみよう！

取材に向かったのは、市内葛和田の利根川河川敷にある「葛和田の渡船場」です。葛和田の渡船は、熊谷市と群馬県千代田町を結ぶ渡し舟で、この舟が通る部分の利根川は「県道」になっています。つまり、私たちが無料で通ることのできる道なのです。川の上は風の通り道になっていて、キックオフイベントを開催

した星川と同じように水辺の涼しさを体験することが出来ます。また、近くにはグライダーの滑空場があったり、川の水面では水上オートバイが走っていたりして、たくさんの人々が楽しく時間を過ごしています。この場所を取材してくれたお友達の声を紹介しよう。「水面近くに顔を近づけるとスピードがさらに速く感じて楽しかった。」

「川の上を船で渡って涼しい体験ができました。」
「川のそばは風が吹いて気持ちよかったです。」
初めて訪れたクールシェアスポットでみんな、涼しく楽しく過ごせたようです。

記事を読んで興味を持ってくれたみなさんは、是非来年の夏、家族やお友達とクールシェアをしに訪れてみてください。葛和田の渡船場だけでなく、私たちが暮らす熊谷には涼しくて楽しい場所がたくさんあります。お父さん、お母さんやお友達とクールシェアMAPを片手に、熊谷のクールシェアスポットをたくさん知ってくださいね。



「渡船場」のひみつ

渡船場とは、渡し舟に乗り降りする場所のことを指します。そもそも、渡し舟というのは、江戸時代の頃から川岸と川岸を渡るために人々に利用されてきました。現代では、主に観光用に全国各地に残っています。今回取材した葛和田の渡船場がある利根川(全長32.2km)には、埼玉県、群馬県、茨城県、千葉県に渡って4か所の渡船場が残っています。



記者 平井 伸和・藤間 太郎

編集後記

みなさん、お久しぶりです！編集長のおっちゃんです！！

今回の「第8号熊谷ひみつ新聞」は第7号新聞で募集をした「2014熊谷」でもみらい塾に参加してくれた4年生～6年生のみなさんと一緒に5月～8月におこなった体験事業をもとに記事を書いたり、新たなひみつや熊谷の偉人を取材して作りました。おっちゃんも記事を作っていて「へえ」とか「なるほど」といった発見がいくつもあつたし、一緒に作業をしたお友達がすごく楽しそうに作っているのを見て、出来上がる前から面白くなること間違いなし！って思っただよ。みんな読んでみてどうだった？

おっちゃんが新聞を担当するのは今年だけなんですけど、まだまだたくさんひみつや発見がこの熊谷にはあるので、これからも熊谷青年会議所のおじいさんたちは新聞を作り続けるよ。新聞を読んでくれたみんなが「記事に書いてあったあの場所へ行ってみよう」「記事のあの事をもっと調べてみたい」と思ったり、お父さんお母さんと記事について話をしてくれと嬉しいな！！そしてそんなひみつ満載の熊谷を大好きになって、大きくなった時「僕たちの大好きな熊谷ってこんなところだぜ」と大きな声で自慢できる人になってもらいたいと思っています。

これからも、熊谷青年会議所のイベント、そして「熊谷ひみつ新聞」を楽しみにしててください！！
編集長 原のおっちゃん

いいねひみつ新聞

QRコードのリンク先に飛んでいただき
と熊谷青年会議所のHP上で過去のひみつ新聞が閲覧できます。お父さんやお母さんと熊谷のひみつをおさらいしよう！

〒360-0041 熊谷市宮町2-39 熊谷商工会館内
社団法人 熊谷青年会議所
HP : <http://www.kumagaya-jc.or.jp/>
メール : info@kumagaya-jc.or.jp